

**RESULT LIST**

0 results found in the Worldwide database for:

**JP4732185** (priority or application number or publication number)

(Results are sorted by date of upload in database)

---

Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

**JP 47-32185** discloses a method for improving stain resistance of a cloth by applying a solution containing a stain blocker. Tannic acid and a sulphonated phenol-or naphthol-aldehyde condensation is exemplified as the stain blocker in the eight publications. A combination of the two compositions is not described.

No. 10



特許庁  
(2000円)



② 特願昭 46-24409 ⑪ 特開昭 47-32185

④ 公開昭 47.(1972) 11.14 (全 4 頁)

審査請求 無

⑨ 日本国特許庁

### ⑬ 公開特許公報

昭和 46 年 4 月 8 日

特許庁長官 佐々木 学 殿

#### 1 発明の名称

ポリアミド系合成繊維の後染カスリ糸の製造法

#### 2 発明者

京都市右京区嵯峨北堀町 20 の 12  
成 戸 謙 吉 (他 1 名)

#### 3 特許出願人

大阪市北区堂島浜通 1 丁目 25 番地ノ 1

(005) 旭化成工業株式会社

取締役社長 宮 崎 輝

#### 4 代理人

東京都千代田区有楽町 1 丁目 10 番地

三信ビル 204 号室 電話 501-2158

豊田内外特許事務所

(5941) 弁護士 豊 田 善 雄



特許庁

明 細 書

#### 1 発明の名称

ポリアミド系合成繊維の後染カスリ糸の製造法

#### 2 特許請求の範囲

ポリアミド系合成繊維糸を、1~40 センチメートルの粘度範囲の染料液若しくは染料水溶液の付着した 1 個若しくは多数個の平面ローラー表面上を該ローラー表面速度の 20~100 倍の速度で接触通過せしめて該糸糸に不規則間隔に前記染料液を付着せしめ、乾燥後染色することを特徴とするポリアミド系合成繊維の後染カスリ糸の製造法。

#### 3 発明の詳細な説明

本発明は走行するポリアミド系合成繊維糸糸に断続的な染料水溶液処理を施した後、常法によつて染色することによつて改良されたカスリ糸を製造する方法に関するものである。

従来、カスリ糸の製造にはスプレーにより染料を吹き付ける方法、ローラー装置を用いて印染する方法、糸糸を部分的に染色する方法などがある。

庁内整理番号

714247

⑤ 日本分類

48 B02

これら一般の方法においては着色した糸糸を製織または製編した場合、染着部分が規則的であるため、周期性が生じ木目状模様あるいは亀甲状模様のような好ましくない模様が生じる欠点がある。また、いずれの方法も糸糸に直接に染色を行なうために染色ロットの切替時における装置の清掃等がまわめて煩雑であり、多品種少量生産の場合の生産性が低い。

本発明者等は従来法における欠点を克服し、かつ後染のカスリ糸を得るために不規則断続的な染料液付着方法について広範囲におよび検討を行なつた結果、特殊な装置を必要とせず走行する糸糸を普通の平面ローラー上で染料液付着せしめる方法において、糸糸走行速度とローラー表面速度との速度比および染料液粘度が糸糸への染料液付着の不規則断続性と密接な関係にあることを発見し本発明を完成したものである。

すなわち、本発明の目的は従来法の欠点である木目状模様あるいは亀甲状模様のような好ましくない周期的模様を生じさせることなく、能率的に

BEST AVAILABLE COPY